

婦中町埋蔵文化財調査報告 第8冊

富 山 県 婦 中 町

# 新町地区埋蔵文化財予備調査概要

二本榎Ⅱ遺跡  
新町Ⅰ遺跡  
新町Ⅲ遺跡  
新町大塚古墳

1988年3月

婦中町教育委員会

## 序

婦中町には、数多くの遺跡の存在が知られています。なかでも町西部の丘陵上には、王塚古墳・勅使塚古墳などの国・県指定史跡を始め、先土器時代から中世に至る各時代の遺跡が多く知られています。

本書で取り上げる新町地区の4遺跡も町西部丘陵上にある遺跡です。この新町地区の周辺は、町内でも最も遺跡の多く集中するところで、そのためここ数年来発掘調査が相次いで行われてきました。その成果は、地域の歴史・文化の解明におおいに役立っています。さらには、地域住民の文化財保護に対する理解にもおおいに役立っています。

本書の成果も、こうした地域の歴史・文化の解明や文化財保護思想の啓蒙に役立てば幸いです。

最後に、発掘調査に際しご指導いただいた富山県埋蔵文化財センターを始め、快く調査にご協力いただいた地元新町地区の皆さんに深く感謝の意を表します。

1988年3月

婦中町教育委員会

## 例 言

1. 本書は、県道八尾小杉線道路改良事業に伴い調査を実施した富山県婦負郡婦中町新町地内の4遺跡の予備調査概要である。
2. 調査は、富山土木事務所の委託を受け、婦中町教育委員会が実施した。調査にあたっては富山県埋蔵文化財センターの指導と協力を得た。
3. 調査事務局は婦中町教育委員会に置き、社会教育係長大上正弘、社会教育主事田上浩幸が調査事務を担当し、教育次長加木 武が総括した。
4. 発掘調査及び本書の編集・執筆は田上が行った。図版の作成に当たっては、臨時職員平野幸恵・瀬川範子の協力を得た。

## 目 次

### 序

### 例言・目次

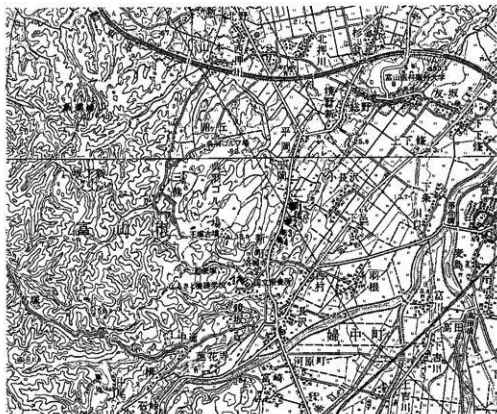
I 遺跡の位置と環境 .....	1
第1図 遺跡の位置 .....	1
II 調査に至る経緯 .....	2
表1 周辺の遺跡一覧 .....	2
第2図 周辺の遺跡 .....	3
III 調査の概要 .....	4
1. 二本榎II遺跡	
2. 新町I遺跡	
3. 新町III遺跡	
4. 新町大塚古墳	
第3図 出土遺物実測図 .....	4
第4図 発掘区 .....	5
IV まとめ .....	6
引用・参考文献 .....	6
写真図版 .....	7

## I 遺跡の位置と環境

婦中町は、富山県のほぼ中央に位置する町で、町の東端に沿って県下最大の河川である神通川が北流する。町の東部は、神通川とその支流である井田川によって形成された扇状地で、これに対し町西部は、富山平野を東西に二分する奥羽丘陵から牛岳へと連なる丘陵地となっている。地勢は、この平坦地と丘陵地の二つに大別できる。

新町地区は、町の中心街である連星地区の西方約3km、ちょうど奥羽丘陵と射水丘陵の分岐点にある羽根丘陵東側裾野の段丘上にあり、ここを通る県道八尾小杉線沿いに集落が形成されている。

本書で取り上げる4遺跡は、この集落の東に南北方向に連続して立地している。北側より二本榎Ⅱ遺跡、新町Ⅰ遺跡、新町Ⅲ遺跡、新町大塚古墳の順に並ぶ。付近には、国指定史跡の王塚古墳や県指定史跡の勅使塚古墳を始めとし、先土器時代から中世にまで至る各時代の遺跡が数多く知られている。



第1図 遺跡の位置 (1/50,000) 1.二本榎Ⅱ遺跡 2.新町Ⅰ遺跡 3.新町Ⅲ遺跡 4.新町大塚古墳

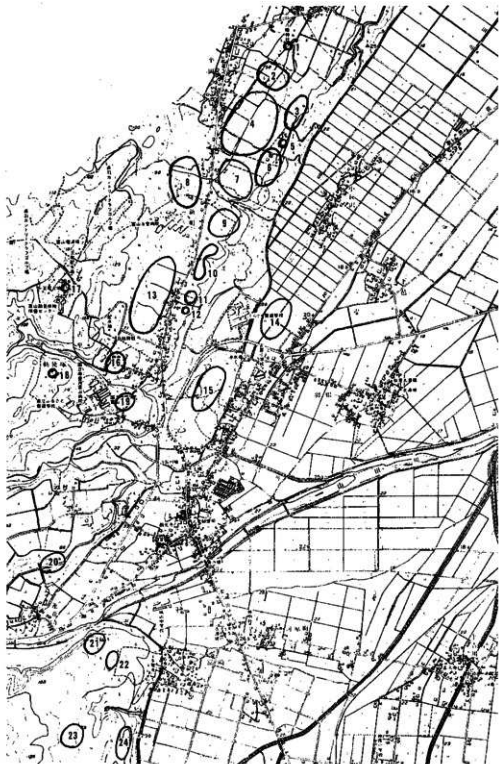
## II 調査に至る経緯

昭和57年度、婦中町新町地内で県道八尾小杉線道路改良工事の計画があることを知り、その事業予定地内には、周知の遺跡も含めほかにもおおくの遺跡の存在が予想されたので、昭和58年4月に富山県埋蔵文化財センターと婦中町教育委員会で事業予定地周辺を踏査した。その結果、事業予定地には二本榎Ⅱ遺跡、新町Ⅰ遺跡、新町Ⅲ遺跡、新町大塚古墳の4遺跡の存在が確認されたので、その取り扱いについて事業主体である富山土木事務所と富山県埋蔵文化財センター・婦中町教育委員会との間で協議を行った。協議のなかで、事業地の変更が地形的に難しいため、とりあえず遺跡の正確な範囲・性格等を確認するための試掘調査を用地買収後に実施することにした。

昭和62年度、用地買収のほぼ完了した10～11月にかけて、試掘調査を実施した。

番号	遺跡名	種別	現状	採集遺物等	番号	遺跡名	種別	現状	採集遺物等
1	新開遺跡	散布地	畑地	縄文土器 須恵器	13	新町Ⅱ遺跡	集落跡	水田	須恵器 珠洲
2	大開Ⅰ遺跡	"	"	縄文土器 石器	14	下邑遺跡	散布地	"	須恵器
3	大開Ⅱ遺跡	"	"	須恵器	15	千坊山遺跡	"	畑地 山林	縄文土器 須恵器
4	平等遺跡	"	"	縄文土器 石器	16	各願寺前遺跡	寺院別 散布地	畑地	珠洲 縄文土器
5	小長沢3号墳	古墳	畑地 神社		17	王塚古墳	古墳	山林	
6	宮の高A遺跡	散布地	畑地	縄文土器 石器	18	勅使塚古墳	"	"	
7	宮の高B遺跡	"	"	縄文土器 須恵器	19	保養園前遺跡	散布地	畑地 病院	縄文土器 石器
8	二本榎Ⅰ遺跡	"	"	須恵器	20	蓮花寺遺跡	寺院跡	水田	珠洲 土師質土器
9	二本榎Ⅱ遺跡	"	"	"	21	富崎城跡	城跡	山林	
10	新町Ⅰ遺跡	"	"	須恵器 土師器	22	富崎野畑遺跡	散布地	畑地	縄文土器 石器
11	新町Ⅲ遺跡	"	"	須恵器	23	富崎南野遺跡	"	"	縄文土器 須恵器
12	新町大塚古墳	古墳	竹林		24	富崎千里古墳群	古墳	山林	

表1 周辺の遺跡一覧



第2図 周辺の遺跡 (1/20,000) 1.新開遺跡 2.大開I遺跡 3.大開II遺跡 4.平等遺跡 5.小長沢3号墳 6.宮の高A遺跡 7.宮の高B遺跡 8.二本榎I遺跡 9.二本榎II遺跡 10.新町I遺跡 11.新町II遺跡 12.新町大塚古墳 13.新町II遺跡 14.下邑遺跡 15.千坊山遺跡 16.各願寺前遺跡 17.王塚古墳 18.勅使塚古墳 19.保嬰園前遺跡 20.蓮花寺遺跡 21.富崎城跡 22.富崎野畑遺跡 23.富崎南野遺跡 24.富崎千里古墳群(富崎支群)

### III 調査の概要

#### 1 二本榎Ⅱ遺跡

事業地内に幅2m、長さ6mの試掘溝を2カ所設け調査を実施した。遺構は確認されなかったが、須恵器1点が出土した。須恵器は横瓶の胴部と思われる小片で、外面にカキ目を施し、内面に同心円文あて具痕をわずかに残す。

#### 2 新町Ⅰ遺跡

本遺跡は、ほぼ中央に谷を挟んで東へ延びる2つの舌状の台地上に立地する。調査は、事業地内に幅2～3m、長さ3～9mの試掘溝を任意に13カ所設け実施した。2つの台地のうち北側の台地上に設けた試掘溝で、穴、焼壁穴が検出された。遺物の出土は、両台地ともなかった。穴は、径約20cm程度の不整形のものに柱穴と思われる。焼壁穴は、径約1.2mの円形のもので、覆土に炭化物・焼土滓を含んでいる。完掘していないが、本遺跡の北方約1kmにある新聞遺跡や野下A遺跡で検出されたものと同様のものと思われる。

#### 3 新町Ⅲ遺跡

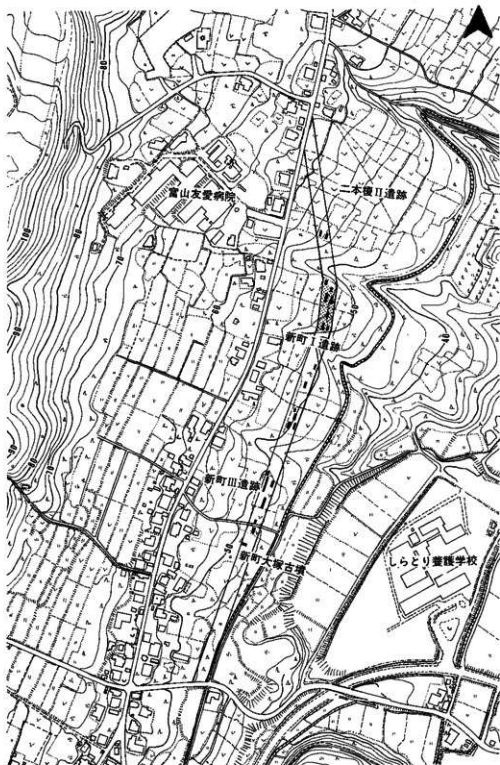
事業地内に幅2～3m、長さ3～19mの試掘溝を任意に6カ所設け調査した。遺構は確認されなかったが、須恵器片1点、磨製石斧片1点が出土した。須恵器は甕の胴部で、外面に格子目タタキ、内面に同心円文あて具痕を残す。磨製石斧は、親指大程の小片で大部分を欠損する。

#### 4 新町大塚古墳

径約10m、高さ約2.5mの円墳と思われるが、墳丘の東側及び北側が畑地を作った際に削平されたためか変形している。墳丘の西側から北側にかけて空濠跡がわずかに確認できる。この墳丘の東側裾が60cm程事業地に懸るため、そこに幅3m、長さ6mの試掘溝を設け調査した。墳丘裾より幅1.2mにわたり平坦面が確認されたが、墳丘の形をなさずに畑



第3図 出土遺物実測図(1/2) 1.二本榎Ⅱ遺跡出土須恵器 2.新町Ⅲ遺跡出土須恵器



第4図 発掘区 (1/5,000) 一発掘区 ●遺跡確認地点



地の畦と並行に走ることや墳丘の立ち上がりは急角度で西側や南側と比べて不自然なことから、以前畑地を作った際に削平した痕跡と思われる。古墳に伴う遺物の出土はなかったが、縄文土器片1点が出土している。

#### IV ま と め

今回の調査は、道路改良事業地内の予備調査であったため、発掘面積も少なく、確認された遺構や出土遺物も僅かであった。また、調査期間中に発掘地区周辺を踏査し遺物の散布状況も調査してみたが、採集できた遺物の量もごく僅かであった。

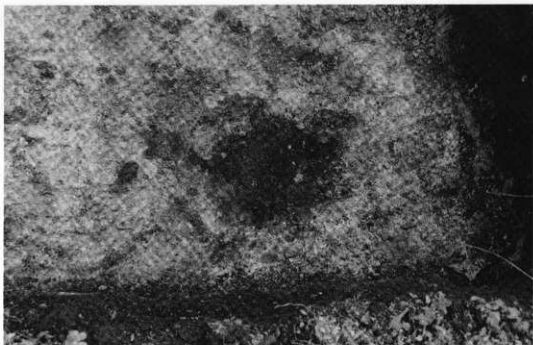
これに対し、今回調査した4遺跡の西側に隣接する二本榎I遺跡や新町II遺跡では同時期のかなりの量の遺物が散布しており、二本榎II遺跡・新町I遺跡・新町III遺跡は二本榎I遺跡・新町II遺跡を中核とした遺跡の遺物の散布地と考えられる。

新町I遺跡で検出された焼壁穴は、伏し焼き法による炭窯跡と考えられ、時期はわからないが、この方法による炭焼きは明治時代頃まで以羽丘陵や射水丘陵などで盛んに行われていたらしく、付近で採集できる遺物と比べ時期は新しいものであろう。

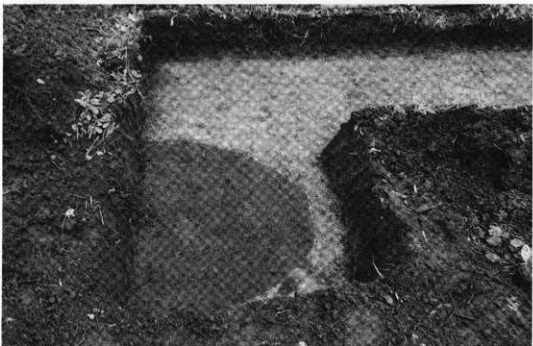
- 引用・参考文献 ト 富山市教育委員会 1985 「富山市野下遺跡発掘調査概要」  
富山県 1973 「富山県史 民俗編」  
フ 婦中町教育委員会 1985 「新開遺跡・新町II遺跡発掘調査概報」  
" 1986 「新町II遺跡の調査」

図版 1 遺跡航空写真

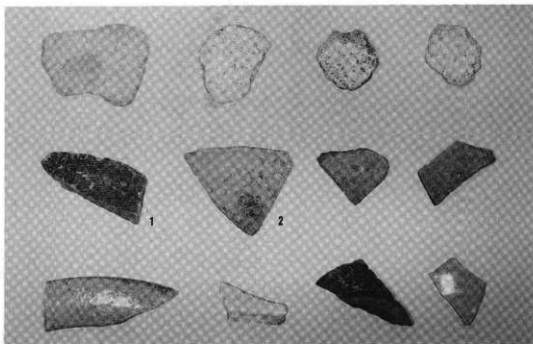




穴 (新町 I 遺跡)



焼壁穴 (新町 I 遺跡)



遺物（上段 縄文土器、中段 須恵器、下段 近世陶磁器）



作業風景

婦中町埋蔵文化財調査報告第8冊  
富山県婦中町  
新町地区埋蔵文化財予備調査概要

発行日 1988年3月31日  
編集者 婦中町教育委員会  
発行者 婦中町教育委員会  
富山県婦中町婦中町連星754  
TEL (0764)65-2111  
印刷者 日成印刷工業所